

## ① 先生が子どもに教えたいと思ったことがお子様に伝わったと思いますか？

- 思います。(3人)
- とても難しい内容ではあるが、福島原発の件で子どももニュース等で聞きかじっていることだったので、より理解を深めることが出来たと思う。
- カラフルなグラフや表でわかりやすい部分が多かったと思います。
- 4年生の子には難しいと思いますが、震災以降、原発に関することや放射能を表す単位(シーベルト・ベクレル)の言葉は聞いているので、なんとなく結びついたかとは思いますが。
- 伝えたいことを何度もリピートされていたので伝わったと思います。
- 先生が一生懸命伝えようとしていることは伝わりました。
- 原子力や放射能について子どもに正しく理解されたと思う。原子力発電に関心を持つことが大切。
- 福島原発のことで放射能・放射線に対して以前より身近な問題として理解できたのではないかと思います。メリット・デメリットそれぞれ理解できたと思います。
- 難しいテーマでしたが、6年生には十分伝わったと思います。
- 今回は内容が難しく、すべて理解できる子はなかなかいないと思いますが、先生の「原子力のことを正しく知ってほしい」という気持ちは伝わったと思います。
- 少し内容が難しかったかもしれませんが、言葉はニュースや新聞で目や耳にしたことがあるので、帰ってからまた勉強すればいいと思います。
- 言葉は分かりやすいものでしたが、内容は少し難しかったように思えます。
- テーマが一般的で子どもたちには話が大きすぎたかもしれません。たとえば発電できる原理と火力と原子力の違いのみとか、なぜ放射能が害なのかとかをポイントをしばらくもう少し深く話してもらった方が良くかもしれません。
- 興味はあったと思いますが、難しすぎてしっかりと理解できたとは思わない。
- 思わない。
- かなり高度な内容のテーマのため、どこまで伝わったかは分かりづらかったです。
- テーマが難しい内容だったと思います。
- かなりハイレベルの子どもでないとうからなかったのではないかと思います。
- 役人のための説明のよう。内容以前に人をだまそうという意図が感じられ誠意がない。子どもはそういうことには敏感。

## ② 生の話す速さや言葉は、ちょうどお子様たちに理解できたと思われませんか？

- やや難しかった。(2人)
- 少し難しかったと思います。専門用語が多かった。
- 言葉が難しいものがあり、多少分かりづらかった気がします。
- 話す速さは良かったと思います。難しい単語があり、どれだけ理解できたか不明ですが。
- とても良かったです。やはり難しい単語が多かったので、事前に言葉の説明などを記したメモ(レ

ジュメなど)があるともっと良いように思いました。

- 最初は良かった(気を付けていたようだ)が、だんだん早くなりすぎて難解になってしまった。
- たどたどしい感じでした。
- スライドが難しかった(言葉や図が)。字が小さかった。
- 話す速度は適切ですが、用語は小学生には難しいと思います。たとえば $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、 $\gamma$ 線は高校か大学。元素は中学か。用語が専門的。
- 丁寧に説明するのではなく、自分の意図する方向へ誘導しようとしているのが見え見え、人を煙に巻こうとする話が伝わるわけがない。
- 話されるスピードが速かったです。大人もメモを取るのが大変でした。
- 専門用語は難しかったと思いますが、理解できたと思います(2人)。
- 話のトーンやスピードはちょうどよかったと思います。専門用語が多いため、理解が出来たかは不明です。
- ゆっくりとお話しされ、図もわかりやすかった。少し字が小さかった。ペレットを「鉛筆の芯のようなもの」とたとえるなど、イメージしやすかった。
- 今まさに、大人も子どもも世界中が関心を持っている事柄の授業で、大変よかったと思います。
- わかりやすく説明してくれてはいるが、パワーポイントが漢字だらけで小学生にはきつかったと思う。わからないなりにいつもノートを書いています。小学校では全くない経験が出来るのは子ども大学ならではのようです。なのでノートよりも話を聞くことに集中しなさいと言ってあります。
- 子どもに分かるように話そうとされていたので、理解できたかどうかはともかく、まじめに聞いているようでした。
- 飽きて私語が聞こえたのが気になりました。
- 残念ながらお話にメリハリがなく、私語雑談する子が多かったように思います。

### ③ご自身で印象に残ったことや新たに発見したことがありますか？

- 難しいテーマでしたが、この講義はやっていただいて大変よかったと思います。子どもたちが理解できたかは不明ですが、感じ取れたのではないかと思います。有意義でした。
- 今回のテーマは福島の問題があったのでとても楽しみにしていました。やはり内容は難しかったですが、テレビなどで見ていたことなどがよりわかった気がします。
- 原子力を増やすにも減らしていくにも、みながしっかり原子力のことを考えなければいけないということ。
- 原子力の平和利用についての重要性和安全性を改めて理解できたが、同時に管理の難しさについてもわかった。
- ほぼ既知の情報でした。
- エネルギーの年代別グラフに興味を持った。
- シーベルトやベクレルなどの単位の違い

- ウランにも種類があって、ウラン235が原子力に使われているということ。
- 原子カムラの必死な感じ。
- 普通に暮らしていても1.5ミリシーベルト程度の放射能を浴びている。測定器具を使えばどんな状態の物質も測定可能。障害が発生するかどうかの境は100ミリシーベルトで0.5%ガンになる確率が増える。
- 開発や研究に携わっている方々にとっては原子力は有効なエネルギーでしょうが、放射性廃棄物や事故のリスクを考えると怖い気がします。ヨーロッパでは原子力発電を諦めた国もあるけれど、日本でもやめるという選択はないのでしょうか？というのが正直な気持ちです。
- 今回の事故を受けて、我が家は原発には反対だと思っています。先生のように推進されてきた方の話を聞いてよかったです。子どもには一方的な話ではなく、賛成反対いろいろな話を聞いて、自分で原発について考えていくことが出来ると良いと思っています。
- ニュースなどで報道されていた専門用語の理解が深まりました。
- 我が家では冬は薪ストーブ、夏は扇風機を使用し、照明も必要でない所は消し消費電力を抑えています。快適な生活で楽しめます。原子力発電も理解しつつ、今の生活を見直し、手間はかかりますが森林資源の利用などを考えるべきだと思います。
- 原発に賛成反対のような偏った内容になるのかなと思っていましたが、学生に客観的で専門的なお話をしていただき、子どもに「これから」を自分で考える余地を与えていただけた授業だと思いました。
- 原子力のリスクを隠そうとしている。プルトニウムのような猛毒の廃棄物や、何十年もかけて稼働していない燃料サイクル、リスク費用を計上しない経済性の説明など、今は論破されている理屈に固執していてあきれた。こんな人を呼んでほしくないです。
- 福島原発の事故の概要について。
- 原子力発電所が水素爆発した理由。
- 福島の事故後、毎日テレビを見ていましたが、直接お話しを聞くことでさらに理解を深めることが出来たと思っています。
- 人体に及ぶ放射能の影響・半減期等、子どもより大人の方が興味を持って聞いていたようです。

**④いままで子ども大学の授業を受けて子どもの考え方や興味の持ち方が変わったと思いますか？もし変わったとしたら、どういう点で変わりましたか？また、今まで受けた授業でどの授業が一番良かったといっていますか？**

- 1回目的川先生「はやぶさ」が大変おもしろかったです。(4人)
- 「はやぶさ」と「薬」の授業がおもしろかったです。
- 関心をもって事前に質問するようになった。
- 4年生なので内容が難しいとは思いますが、毎回もっとたくさん聞きたかったと話してくれます。親がフォローするためにも一緒に講義を聞くことが大事だなと感じています。学校から「かりが

ね」を持ち帰ってきたら、子ども大学で学んだ貧困の授業を受けて感じたことを書いた作文が載っていました。家族みんなで読んで授業を振り返ることが出来ました。

- 普通に日常生活をしていても、ミリシーベルト単位での放射線を常に浴びているという点に驚くとともに、多量に浴びるのでなければ健康上全く問題はないということを今日の授業で理解できたと思う。原子力発電に関心をもつ良い機会となりました。ありがとうございました。
- 変わってきたとは思いますが、それが年齢のせいなのか当取組のためなのかは不明です。
- 興味の幅がとても狭かったのですが、最近は少しずついろいろなことに興味を持ち、疑問を持つようになってきたように思います。難しい内容で理解出来ないこともあるかとは思いますが、わからないことでも話を聞く機会があるのとないのでは全然違うと思います。将来、同じような課題にまためぐり合うようなことがあったとき、子ども大学かわごえで学んだことを思いだしてノートを引っ張り出してきたり、新たに自分で勉強したいという気持ちが出てくるであろう…と信じて参加させています。
- 以前中尊寺金色堂の映像を見させていただいて、世界遺産について学習した経験からか、先週学校から白神山地について調べるという宿題が出たとき、よく書けていると先生に褒められたと喜んでおりました。インターネットや新聞、本、辞書などを使って自分から調べるのが楽しくなっているようで、親の方も子どもに質問されるので以前よりよくニュースを見るなど気を付けるようにしています。子ども大学のあとは普段よりもっとおしゃべりになるので、脳が良く働いたかなあと感じています。
- 先日の川の博物館は楽しかったようです。お弁当やお菓子を食べたり、自由時間に遊んだり、初めて友達ができうれしかったそうです。「ミニかわごえ」にむけて仲間が出来て良かったと思います。普段の授業とは違って、イベントは協力することが必要になると思うので。
- 博物館の中を見学する際、学芸員さんに案内してもらって説明してもらえると、個人で見ると得るものがあつたのでは？と感じました。個人で見学するのとあまり変わらない気がしました。
- 他の習い事で欠席が何度かあり、それはとても残念がっていました。
- 大きな変化はありませんが、授業の内容について家庭で話し合う機会が増えました。
- 変わったと思います。ニュース報道で、授業で習った事柄が出ると私たちに説明したり、インターネットや書籍で調べ学習をするようになりました。
- 子ども大学で聞いてきた内容を家族に伝えています。子どもの考え方が変わったかわかりませんが、子ども大学を楽しみにしています。
- 視野が広がったのではないかと思います。幅広い分野のお話を聞き、今までと少し違う分野のテレビにも興味が出てきたようです。

#### 【意見】

- 子どもの学力や家庭の学習状況に関わらず、広く学習のチャンスのある子ども大学に参加していましたが、子どものIQを知った上で無理な進学などはさせるべきでないという発言はショック

でした。

- 上勝町の葉っぱビジネス、神奈川のチョーク会社（障害者雇用）、クロネコヤマトのビジネス、この前上場した早大1年生で起業した社長（人材紹介会社）等の授業があるといいと思います。